

環境コミュニケーション

環境に配慮した展示会の実施

7月15,16日に開催された「第25回 2010秋&冬の新製品発表会」及び9月15日～17日に開催された「第105回 秋季総合食品展示会」で、当社グループ各社および取引先さまのご協力を得て、廃棄物の削減や省エネルギーに取り組みました。

また、2009年度に続き、会場で使用したすべての電力に伴うCO₂のカーボン・オフセット*を実施しました。排出されたCO₂は、インドのラジャスタン州における風力発電事業で獲得されたCDM(クリーン開発メカニズム)クレジットから排出枠を購入し相殺しました。

*カーボン・オフセット:市民、企業、NPO/NGO、自治体、政府等の社会の構成員が自らの温室効果ガスの排出量を認識し、主体的に削減に努めるとともに、削減が困難な部分の排出量について、他の場所でも実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量等を購入すること。または、他の場所で排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動を実施することなどで、その排出量の全部または一部を購入し、埋め合わせること。

参照:環境省「わが国におけるカーボン・オフセットのあり方について(指針)」



第105回 秋季総合食品展示会

カーボン・オフセット証書



社内報

年3回発行される社内報「FRESH-UP」では、毎回環境に関する情報を掲載しています。

2010年度1月号では「廃棄物関連コスト削減」について、5月号では「ボランティア・サポート・プログラム協定締結」、「環境・社会報告書2010 発行」、について掲載しました。従業員の意識向上に役立っています。



2010年度社内報

社外清掃活動

当社グループの全国の事業所では、原則月に1回従業員のボランティアによって、周辺の道路など公共エリアの清掃活動を実施しています。今後も地域社会と歩む企業として感謝の気持ちを込めて、清掃活動を継続します。

*ボランティア・サポート・プログラム:地域の人々(自治会等)や企業が道路の美化清掃に参加し、ともに快適な道づくりを進める活動を国土交通省が支援するプログラム。道路を羨しみ、住んでいるところをきれいになりたいという自然な気持ちを、形あるものにしよと考え出された。アメリカで、ボランティアの人たちが、我が子のように道路の面倒を見ている「アダプト・ア・ハイウェイ・プログラム」にヒントを得たもの。ただし、国土交通省管轄の事業であるため、国道の清掃や美化に限定されている。

ボランティア・サポート・プログラム*

当社の本社周辺で実施している従業員のボランティア清掃活動に関して、国土交通省近畿地方整備局兵庫国道事務所および同兵庫国道事務所・神戸維持出張所と「ボランティア・サポート・プログラム」に関する協定を2010年1月に締結しました。この協定にともない、2010年4月に「ボランティア・サポート・プログラム」に関するサインボードが設置されました。



「ボランティア・サポート・プログラム」調印式



サインボードの設置